

## 実施体制及び国内外のネットワーク

<b>提案主体名</b>	兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市
<b>提案プロジェクト名</b>	あわじ環境未来島－国生みの島からの日本再生
<b>① 実施体制(構成主体と役割分担)</b>	
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>兵庫県、地元3市(洲本市、南あわじ市、淡路市)、主要な地域団体、企業、NPO等による協議と合意形成の場として「あわじ環境未来島構想推進協議会」を創設。協議会内に、個々の事業の具体化を進めるため、事業者、NPO、住民等を中心とするプロジェクトチームを設置。プロジェクトチームは、熟度に応じて順次立ち上げることができる仕組みとする。また、取組全体の進捗調整・フォロー、取組状況の評価検証を行うため、県、地元3市長、主要な地域団体の代表者、学識経験者による企画委員会を設置。協議会の事務局は、県・地元3市、地元企業で構成する(財)淡路島くにうみ協会に設置。スタッフは県、地元3市で構成。協議会の設置運営経費は、県が予算措置。</p>	
<b>② 実施体制(プロジェクトマネジメントのための具体的な方法論)</b>	
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>企業力の活用を基本とし、企画会社を中心に地元企業、関西企業、海外企業、国内外投資家、金融機関等が参画するコンソーシアムを各拠点プロジェクトごとに組成して事業を推進。また、住民、NPO、企業等が「あわじ環境未来島構想推進協議会」をプラットフォームに協議を重ね、熟度の高いものから順次、プロジェクトチームを立ち上げて取組を具体化。県・地元3市・淡路島くにうみ協会は、個々のプロジェクトに対するアドバイス、コーディネート等の支援を行うとともに、「環境未来島づくり活動応援事業(H23新規)」による起業時の資金援助の仕組みも組み合わせて、プロジェクトチームからの事業の自立、事業体(株式会社・LLP・NPO等)の組成までを支援。取組テーマの明確化、新たな取組の創出、人材の育成を進めるため、分野別の勉強会(セミナー)も開催。意欲の高い住民、専門性を持った企業、NPO等のコミュニケーションを促進し、事業の具体化につなげる。協議会内に設置する企画委員会では、取組状況の評価検証を行いながら、個々のプロジェクトに対するアドバイスやコーディネートを行い、事業の円滑な実施を支援。</p>	
<b>③ 国内外のネットワーク(国内外のベストプラクティスの相互交流のための具体的な方法論)</b>	
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>エネルギー自給に取り組む世界の島との友好提携を模索(エネルギー自給100%を実現しているデンマークのサムソ島やボーンホルム島との姉妹島提携など)。また、再生可能エネルギー利用の総合的なパッケージを構築し、インドネシア、フィリピン等の島嶼地域への展開を図る。</p>	
<b>④ 国内外のネットワーク(国内外の都市・地域との連携を強化するための具体的な方法論)</b>	
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>京阪神都市圏に隣接(神戸の対岸4km)するが、山・川・里・海の多彩な自然環境に恵まれ、気候が温暖。また、相対的地価が低く、多くの空き家・空き施設・遊休地もあり、今後大都市圏で急増する高齢者や、新しいライフスタイルを求める人々の受け皿となることが可能。シニア層の「田舎暮らし」の呼び込み事業は既に行っているが、さらに、地元NPOと連携して、農、スローライフ、芸術等を志向する新しいライフスタイルを実践する若者を積極的に呼び込む活動を展開予定。新しい住民をネットワーク化し、新しいライフスタイルの発信につなげる。国際空港、国際港湾に隣接する「世界に開かれた」立地にあり、国内外との連携・交流を図ることも容易。取組成果の発信面でも有利(実物を見てもらいやすい)。持続可能な地域社会のモデル・パッケージとするのに最適な立地。</p>	

※別紙様式3は、可能な範囲内でご提案願います。